

Ecola

イ・ヨ・ラ

No. 27

発行 2018年6月3日

こんにちは！皆さんお変わりありませんか？地球温暖化だと言われているのに、和歌山でも何度か雪が降るほど、今年の冬はものすごく寒かったですね。

そんな中、お隣の韓国では真冬のスポーツの祭典『平昌オリンピック・パラリンピック』が開催され、フィギュアスケートやスキージャンプ、スピードスケートはもちろん、今まであまり知らなかったカーリングなどが注目されました。そして選手たちの熱い闘いは、メダルの獲得と共に感動を与えてくれました。

次は2020年の東京大会です。どんなドラマが生まれるのか？今から楽しみです。では、もぐもぐタイムでも取りながら、ゆっくりイコラをご覧ください。

「そだね～！」



和歌山城ブルーライトアップイベント

平成30年4月2日（月）の「世界自閉症啓発デー」に、三回目となる和歌山城ブルーライトアップイベントが開催されました。和歌山城公園内で古川市議会議員、和歌山市職員の皆様と自閉症啓発チラシ入り



和歌山市役所 14階から見た和歌山城

の世界自閉症啓発デー記念ファイルを配りました。

特別に開放していただいた市役所14階には、平日の夜にもかかわらず、思いのほかたくさんの方が来場され、自閉症児者の絵画作品を見たり、ライトアップされた幻想的な和歌山城の写真を撮影されたりしていました。



バーベキュー

平成 29 年 11 月 3 日（金・祝）

Le.montmartre

参加者 30 名（12 家族）

加太少年自然の家の建て替えで、28 年度はできなかったバーベキューですが、歯科のニュースレターに「BBQ しました！」の記事を見つけ、問い合わせしてみたところ「雨でもできる」とのことで、今年度は開催することにしました。

その心配していた雨も、“晴れの特異日”だけあって、いいお天気でした。Le.montmartre は、粉河加太線沿いの紀伊団地



バス停そばのグリーンファームの中にあります。担当者は用意のため

に 30 分前に集まりましたが、駐車場の誘導から、ほとんどの用意はお店の方がしてくれていて、炭もおこしはじめてくれました。



藤原会長の挨拶、家族の紹介の後、焼きそばが焼けるまで隣の神社を散策し、社殿で食後の

お楽しみのビンゴカードを受け取りました。いつもの少年自然の家のアスレチックとは違い、あっと言う間に戻ってきたので、まだ焼きそばはできていませんでしたが、お母さん達が焼いてくれている

姿を見つめながら待ちました。

焼きそばが焼けたら、次はお肉！！さすがお肉屋さんだけあって、すごくジューシーでした。ソーセージも手造りでとってもおいしかったです。また、ここはアルコールが OK なので、ワインを持って来た人やビールを買った人（もちろん、運転はしていませんよ！）もいて、一段とおいしく食べられたようです。前回好評だった、焼き芋も焼きましたよ。



食後の片付けもお店でやって

くれるので、少しのんびり…売店でジェラートを買って食べたり、お土産用に手造りソーセージを買ったりしました。

最後はお待ちかねのビンゴ大会。みんな列に並んで一人ずつビンゴを回して「○番！」と大きな声で発表していきました。いつもの様になかなか揃わず、「もうボールもちょっとしかないで～」という頃にやっと最後の人が揃い、同時にバーベキューの会もお開きになり、景品のお菓子と差し入れの柿をお土産に帰りました。

新会員の山下さんの感想です

自閉症協会のイベントに初めて参加させて頂いたのですが、他の会員さんと初めまして！でも終始楽しく参加出来ました。

子どもたちも美味しく食べ、ビンゴには大いに盛り上がり、また、今後も様々なイベントに積極的に参加させて頂きたいと思いました。

就学期お母さんの交流会

平成 29 年 11 月 2 日 (木) 参加者 9 名 (うち一般 2 名)

12 月 11 日 (月) 参加者 6 名 (会員限定)

平成 30 年 3 月 1 日 (木) 参加者 9 名 (うち一般 4 名)



28 年度に続き 29 年度も会員限定 1 回、一般 (会員外) 参加可能な会を各学期 1 回ずつ開催しました。一般参加可能な会には、ペアレントメンター協会のグループ相談会で配布したチラシを見て、自閉症協会の交流会にも興味を持たれ、参加してくれる方が最近ちらほらあります。

特に地域の小学校の低学年のお母さん達は、学校や先生との付き合い方や社会的な支援の情報などを、専門家ではない同じ立場のお母さん達と雑談を交えながら、気楽に相談できるのが良いと感じてもらっ

ているようです。その中で友達になったり、入会してくれる方もいます。

12 月の会員限定の交流会では、梶取のパーソナリティカレッジ『エジソン』で施設見学の後ランチ会をしました。

就労移行支援の就労時間は 9 時～15 時ですが、安定して通えるように一人一人に合わせて時間を決めているそうです。仕事はレストランと産直広場で、調理・加工・接客・電話の対応だけでなく、

食材の発注業務なども在庫管理の訓練により、働く力を身につけているとの事でした。

また、SST (ソーシャル・スキル・トレーニング、社会生活技能訓練) を中心に、対人関係のスキルアップやビジネスマナー、自己分析なども行っているそうです。余暇活動として、カラオケやビデオ鑑賞、ヨガ、スポーツ活動などもされているとの事です。

就労移行支援での訓練 (最長 2 年) 終了後は、エジソンの B 型、スーパーサンワの A 型『クロスオーバー』や一般就労など、それぞれに適した形をとり、その後に定着支援としてフォローアップもしてくれるそうです。

他に放課後等デイサービス『エジソンジュニア』や貸しスペースがあり、ヨガ教室などもされています。

見学も終わって、いよいよランチタイム！バイキング方式でパスタやピザ、サラダ、デザートチョコレートフォンデュまであり、それらを食べながら学校や家庭の事を話しました。あぁ～お口が忙しいわ(笑)。



和歌山県・和歌山市との対話集会

「和歌山県との対話集会」が平成29年10月26日（木）県庁北別館2階大会議室にて行われました。参加者は15名（うち和歌山市分会13名）でした。



「和歌山市との対話集会」は平成29年11月16日（木）和歌山市中保健センター3階大ホールにて行われました。参加者は15名でした。



母親クッキング

中央コミュニティセンター 調理室

- 第3回 平成29年12月21日（木） 参加者…18名
〈メニュー〉レンコンのはさみ揚げ、高野豆腐の煮物、赤飯、みそ汁、ケーキ、おもち（お土産）
- 第4回 平成30年 2月21日（水） 参加者…18名
〈メニュー〉エビと野菜の天ぷら、栗ご飯、干し大根の煮物、筍とわらびの煮物、ケーキ、はっさく

いつもすごくバラエティーに富んだメニューですね！
年末はいつもおもちが登場していますが、〇〇さんが杵を持って、おもちをついている姿を想像したんじゃないですか？
違いますよ～、餅つき機でした（笑）



My コミュニケーションカードが出来ました！



もう既に、交付を受けて持っている方もいると思いますが、和歌山市が「My コミュニケーションカード (My コミ)」を作成しました。

My コミは、自閉症・知的障害者・聴覚障害者・精神障害者等で自分の意思を伝えるのが難しい人が、イラストを指すことで相手とコミュニケーションをとるためのカードです。(TEACCH であるところの絵カードですね。)



28年の夏から、障害者父母の会・手をつなぐ育成会・聴覚障害者協会等の障害者団体の代表の方と共に数回、和歌山市役所のヒヤリングや作成検討会などに参加し、どんな物にしていくか？から、イラストにする動作・場所・物などについて話し合いました。

イラストの選定については、自閉症協会が任せられ、イラストレーターから仕上がってきた絵をチェックしていきました。

一番苦労したのは、自閉症の人がわかるように余計な情報が入らない、シンプルな絵にしてもらうという事でした。名称の部分の隠して、家族や自閉症児者本人に「何の絵か？」などと聞いたりしながら、修正するという地道な作業を350枚以上していきました。



こうして、やっとできた My コミです。まだ持っていない方も、ぜひ障害者支援課で交付を受けて、活用して下さい。勉強会などが開催できたらいいなあ、と思っています。

「My コミュニケーションカード」(My コミ) の使い方

カードの入手方法

① 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

② 相手の意思を伝えたいカードがない場合、前後席のホワイトボードに記入しましょう。

③ 「5.0百表」のカードを指って一文字ずつ順番に文字を指し示しましょう。

④ 利用者が「トイレに行きたい」ということを相手に伝えたい場合は、「トイレ」のイラストを指すに指します。

⑤ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑥ 「5.0百表」のカードを指って一文字ずつ順番に文字を指し示しましょう。

⑦ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑧ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑨ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑩ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑪ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑫ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑬ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑭ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑮ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑯ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑰ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑱ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑲ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

⑳ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉑ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉒ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉓ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉔ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉕ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉖ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉗ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉘ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉙ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉚ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉛ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉜ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉝ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉞ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㉟ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊱ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊲ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊳ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊴ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊵ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊶ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊷ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊸ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊹ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊺ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊻ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊼ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊽ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊾ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

㊿ 利用者は「My コミ」の裏から相手に伝えたい内容のイラストを指します。

カードの入手方法

① 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

② 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

③ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

④ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑤ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑥ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑦ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑧ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑨ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑩ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑪ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑫ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑬ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑭ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑮ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑯ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑰ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑱ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑲ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

⑳ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉑ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉒ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉓ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉔ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉕ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉖ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉗ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉘ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉙ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉚ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉛ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉜ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉝ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉞ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㉟ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊱ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊲ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊳ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊴ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊵ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊶ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊷ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊸ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊹ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊺ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊻ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊼ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊽ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊾ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

㊿ 和歌山市障害者支援課 相談係 電話 0930-22-1111

岡先生のワンポイントアドバイス②⑥

「性教育の必要性について」

「集団行動がとれない」「言葉がない」など、発達に遅れや偏りがある重度の子どもでも、必ず性の目覚めはやってきます。保護者の皆さんがよく言われる「思春期が怖い」という要因の一つにもなっているのではないのでしょうか。子どもは、小学生（小学部）の頃から学校でも家庭でも異性との関わり方について学んでいかなければなりません。子どもには学ぶ権利、大人には教える義務があるのとらえておくとよいでしょう。講演会等では「性は生」とよく言われます。性を学ぶことは生きることを学ぶという意味です。

特に、発達障害の中でも自閉症スペクトラム障害（以降、自閉症）の子どもたちには、正しい知識とルール・マナーを早く身につけさせておく必要があります。なぜならば、自閉症の子には、周囲の空気が読みにくい特性があり、恥ずかしいという感覚があまりないことから、男の子であれば、どこでもマスターベーションを始めてしまったり、女の子でも意識せずに人前で服を脱いでしまったり、異性との距離が近すぎるくらいひっついていたりすることがあります。この後、子ども自身が、性的な関係や他者との適切な関わり方を理解しておかないと、思わぬトラブルにつながるおそれもあります。

よく笑い話で、「自閉っ子って面食いだよね」なんて話をしますが、本来ビジュアル系ですから、当然好みもはっきりしています。小さい頃から気に入った女の子を見ると、人前だろうが相手が嫌がっていてもお構いなしに抱きついてしまうなんてことはなかったのでしょうか。幼児ならば許されていたことも、身体が大きくなれば傍から見

和歌山さくら支援学校 岡 潔

と異常な光景ですし犯罪と言われるようになりま
すよね。

それでは、性について何をどこから教えたらと
いうことになります。特に自閉症の子にはわかる
かたちで教えていかなければなりません。小さい頃な
ら、まず「からだの中で人前では触っていけない
部分（陰部）がある」ことを繰り返し指導してい
く必要があります。ハグもタイミングや使い分け
が難しいですよね。試合などで勝った時は良いが、
「知らない人にかわいいからとっていきなり抱
きつくのはいけません」といったことを伝えてい
くのはその都度根気よく伝えるしかありません。
学校では、人との距離感についてイラストを使っ
て教える授業をよく見ます。これもお互いの関係
性で心の距離も変わってきますので、一律何 cm
とは言えないのですが、具体的に伝えることが必
要ですね。

性器いじりやマスターベーションについては、
恥ずかしいことではなく、正しい方法を教えてい
く方向が重要です。人に見られない場所を作って
あげること。家族の前でもやらせないこと。トイ
レやお風呂場、自分の部屋で出して、ティッシュ
で処理するところまで教えるようにすること。床
に性器をこすりつけるなど間違っただり方はすぐ
に修正してあげること。など具体的に伝えること
があります。私は、参考文献として「知的障害・
発達障害児者のための射精支援ガイドライン」（一
般社団法人ホワイトハンズ）を活用しています。

保護者の皆さんにとって、我が子の性の目覚め
にどう備え、どのように向き合っていけばよいの
かというのは大きな悩みだと思います。時期が来

たらお父さんになどと先送りにしてもらえませんが、子どもたちを性被害から守るためにも、また将来、加害者にもならないためにも避けて通れない課題なのです。だからといって、障がい者の性が悪いことのようにとらえてしまうことは偏見のなにもでもありません。障害者差別解消法（平成28年施行）のもと、私たちの意識も少しずつ変えていかなくてははいけませんね。

【性教育に関する参考文献】

- 『自閉っ子のための道徳入門』
（社会の中で生きる子どもを育む会・花風社）
- 『イラスト版 発達に遅れのある子どもと学ぶ性のはなし：子どもとマスターする性のしくみ・いのちの大切さ』（合同出版）
- 『イラスト版 10歳からの性教育：子どもとマスターする51の性のしくみと命のだいじ』（合同出版）

人権フェスタ

平成29年11月11日（土）
和歌山ビッグホエール



2年ぶりにポラリスさんと共同で、ブース展示と相談コーナーの参加となりました。例年通り、啓発ポスター、子どもたちの絵画作品の展示、書籍の販売、啓発パンフレットの配布、ポラリスでお借りした支援グッズの展示に加え、この日発行のイコラ No.26 の大型版も展示されました。



相談コーナーでは、ポラリスの先生を見つけ相談された方や、毎年顔を出してくれて相談ではないもののやり取りを楽しんでいるような方、1時間ほど今までの苦しかった事や将来の不安などを話された方など、成人された本人の相談が目立ちました。

今回は、協会の療育キャンプ・県の支援学校陸上競技大会などの行事が重なってしまい、スタッフの手が足らず、長時間当番をして下さった方々お疲れ様でした&ありがとうございました。

追悼 昨年11月15日上田真宏さん（あさも園）が急逝されました。いつもお母さまといろんな行事に楽しそうに参加されていたことが思い出されます。謹んでご冥福をお祈りいたします。

～編集後記～

編集スタッフとして活躍してくれていた奥野美和さんが、昨年秋にご病気のため亡くなりました。

ここ数年、Eoolaの冒頭あいさつ文は奥野さんが書いてくれていたのですが、彼女の温かい人柄を感じさせる言葉ひとつひとつが私たちに遺してくれたメッセージのように感じています。

編集スタッフ：尾崎富久子・江川かがり・植野比呂美

《発行》イコラ編集局（連絡先）尾崎富久子
e-mail: fukuko2939@gmail.com

※ イコラはWeb版も出しています。ぜひカラーでもお楽しみ下さい。バックナンバーもご覧いただけます。
和歌山県自閉症協会ホームページからどうぞ！！